◆市長メッセージ　【新たな「風」を未来へ繋ぐ】

市民の皆さま、秋の深まりとともに、実りの季節がやってまいりました。

さて、半年間にわたり放映された2026年前期NHK連続テレビ小説『風、薫る』が、先月末に最終回を迎えました。本市出身の近代看護の先駆者・大関和（おおぜきちか）さんをモデルとしたこの物語は、多くの市民に勇気と感動を与え、改めて私たちの郷土が育んだ偉大な人物に光を当てる貴重な機会となりました。

物語の序盤、大田原の瑞々（みずみず）しい風景の中で描かれた和さんの志は、明治という激動の時代に看護の道を切り拓く大きな力となりました。彼女の根底にあったのは、故郷で培われた慈愛の心と、困難に立ち向かう不屈の精神です。放送は終了いたしましたが、和（ちか）さんが吹き込んだ情熱という名の「風」は、今も私たちの心に確かな誇りとして吹き続けています。

大関和記念碑（黒羽田町）

一つの物語が幕を閉じた今、私たちはその志を継承し、次なる街づくりへと繋げていく必要があります。番組を通じて再確認した郷土の誇りを次なる活力に変え、誰もが希望の風を感じられる大田原の未来を、切り拓いていく決意です。和さんが生涯をかけて願った「人々の健やかな暮らし」を実現するため、誰もが安心して自分らしく輝ける大田原市を、市民の皆さまと共に築いてまいりたいと思います。